



パネル展をぜひ
見に来てください

「瀧樹神社のケンケト踊り - 甲賀に受け継がれる風流踊 - 」開催中

- 日時 3月12日(日)まで 10時～17時 ※年始(1/1～3)、月・火曜日休館
- 場所 土山歴史民俗資料館 第2展示室
- 入館料 無料

「ユネスコ無形文化遺産「風流踊」登録記念講演会」開催

- 日時 1月29日(日) 13時30分～
- 場所 草津市立クリアホール(草津市野路6-15-11)
- 講演 俵木 悟氏(成城大学教授)
- 実演 「近江のケンケト祭り長刀振り」から山之上のケンケト踊り(竜王町)
「近江湖南のサンヤレ踊り」から下笠のサンヤレ踊り、志那のサンヤレ踊り(草津市)
※内容等は変更になる場合があります。



瀧樹神社ケンケト踊り保存会 会長 中村 克也さん

この度「瀧樹神社のケンケト踊り」がユネスコ無形文化遺産「風流踊」に登録されたこと誠にありがとうございます。室町時代から約500年近く続くこの踊りが世界に評価されたことに大きな喜びと同時に、未来に向けて伝統を絶やすことなく続けていかなければならないという使命感に気持ちが昂りました。今回の名誉はここに至るまでの関係者皆様のお力添えと努力並びに祭礼保存継承にご尽力いただいた先人たち皆様のおかげであります。これからも「瀧樹神社のケンケト踊り」が後世に継続出来るよう故郷の皆様とともに頑張っていく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

祝 ユネスコ無形文化遺産登録
たぎ
瀧樹神社のケンケト踊り

昨年11月30日、本市に伝わる瀧樹神社のケンケト踊りを含む「風流踊」が、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)無形文化遺産に登録されました。本市では初めてのことであり、瀧樹神社のケンケト踊りが地域はもとより世界の「宝」として認められました。

瀧樹神社のケンケト踊り

甲賀町岩室、土山町前野・徳原に伝わる瀧樹神社のケンケト踊りは、毎年5月3日の春祭りで奉納されます。孔雀や山鳥などの羽根で作ったシャガマを被った踊り子の子ども達が、神社や地域の各所で囃子に合わせて踊りを披露します。ハナバイ(花奪い)も、このお祭りの特色で、神幸行列で地域を巡り、神社にやってきたハナガサを参拝者が倒して、赤い造花などの飾りを奪い合います。取った花を家に持ち帰り、神棚や玄関などに飾っておくと、災難を免れると伝えられています。滋賀県南東部に伝わる「近江のケンケト祭り長刀振り」の1つです。



風流踊

風流踊とは、華やかな、人目をひく、という「風流」の精神を体現し、衣装や持ちものに趣向をこらして、歌や笛、太鼓、鉦などに合わせて踊る民俗芸能のことです。室町時代の末期、祇園祭(京都)の露払いや囃子が風流の芸能として大流行し、やがて各地に伝わっていきました。除災や死者供養、豊作祈願、雨乞いなど、安寧な暮らしを願う人々の祈りが込められ、各地域の風土や歴史に応じて、多種多様に伝承されています。